５．	使用の合理化
６．	代替となる物資の開発
７．	その他

特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目名①：			
取組番号	達成目標	具体的な取組内容	取組主体

（注１）複数の異なる種類の取組を一貫して実施する場合は、取組番号欄に複数の取組番号を記載することとして差し支えない。その際、記載内容がいずれの取組番号に該当するものかわかるように具体的な取り組み内容を記載すること。
（注２）１つの取組により２以上の品目の安定供給確保を図る場合は、品目ごとに目標数値を記載すること。
（注３）具体的な計画内容の記載に当たっては、事業開始年度及び事業終了年度並びに取組により直接的に達成が見込まれる定量的な中間目標等を設定している場合はその内容も併せて記載すること。
（注４）当該取組を実施する上で、これまでの原材料等の調達方法を変更し、新たな調達に関する計画・取組を行う場合は、当該計画・取組を併せて記載すること。
（注５）当該計画を認定した場合は、当該表の記載内容について安定供給確保支援法人又は安定供給確保支援独立行政法人に対し通知する。

（４）目標数値設定の根拠

特定重要物資等の品目名①：

（注１）数値算出の根拠となる計算式やそれに用いた数値の根拠並びに当該物資の市場の見通し及び世界情勢等の背景を踏まえて記載すること。
（注２）２以上の品目の安定供給確保を図ろうとする場合には、上欄を追加してそれぞれの取組ごとに記載すること。

５　計画の実施内容

（１）計画の概要

１～３行程度で簡潔に記載

（注）本申請書により複数の取組を申請する場合には、当該複数の取組をまとめた実施概要を記載すること。

（２）計画全体のスケジュール

特定重要物資等の品目名①：	
2023 年度	（記載例） ○月　○○工場での土壌整備開始 ○月 ○月
2024 年度	○月　○○工場での原材料及び原薬の備蓄設備導入完了 ○月
2025 年度	
2026 年度	○月　○○を達成【中間目標】
2027 年度	
2028 年度	
2029 年度	
2030 年度	○月　○○を達成

（注）２以上の特定重要物資等の安定供給確保を図ろうとする場合は上表を追加して記載すること。

（３）取組実施時期

特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目名①：			
取組の内容	着手 （発注）	設備設置、研究開発等 に要する期間	供給開始 （初出荷）
	年　月	年　月～　年　月 （少なくとも○ヶ月間必要）	年　月
	年　月	年　月～　年　月 （少なくとも○ヶ月間必要）	年　月
	年　月	年　月～　年　月 （少なくとも○ヶ月間必要）	年　月
継続生産期間：　年			

（注１）取組の内容については、上記４（３）で選択したものを記載すること。
（注２）着手とは、取組を実施する上で必要な発注、購入、契約等を実施し、取組を開始することをいう。
（注３）複数の異なる取組を一貫して実施する場合は、行を追加して取組種類ごとに記載すること。また、複数の取組を実施する場合及び２以上の特定重要物資等の安定供給確保を図ろうとする場合は上表を追加して記載すること。

（４）取組において支援措置の対象とする施設の内容

特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目名①：					
取組の内容（注１）					
施設の名称					
施設の所在地（住所）					
敷地面積		㎡	建築面積		㎡
施設の説明					